

## 教職員用 学校教育自己診断アンケート

番号	質問内容	総計			
		A+B		C+D	
		人数	%	人数	%
1	学校の教育活動について教職員で日常的に話し合っている。	21	84	4	16
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	20	80	5	20
3	授業内容を工夫し、わかりやすい授業づくりに努めている。	23	92	2	8
4	児童生徒の個々の障がいに対応した教育活動を行っている。	21	84	4	16
5	個別の教育支援計画、個別の指導計画は、児童生徒や保護者のニーズを踏まえ、作成している。	24	96	1	4
6	個別の教育支援計画、個別の指導計画は、学園スタッフや前籍校と情報交換を行い作成している。	22	88	3	12
7	学校は1人1台端末を効果的に活用している。	22	88	3	12
8	学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行なっている。	24	96	1	4
9	児童生徒会は主体的に活発なものとなるように、教職員は適切な支援を行っている。	16	64	7	28
10	児童生徒一人ひとりの実態に即した「自立活動」（ふれあいタイム等）の指導を行っている。	18	72	7	28
11	学校は、カウンセリングマインドを取り入れた指導を行っている。	16	64	8	32
12	児童生徒一人ひとりが興味・関心・適正に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	15	60	7	28
13	児童生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている。	23	92	2	8
14	教育相談体制が整備されており、児童生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	20	80	5	20
15	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	21	84	2	8
16	教職員は、感染管理に対する正しい知識を持ち、適切に実行している。	22	88	3	12
17	児童生徒の教育活動中の健康の配慮や事故・体調の急変に、迅速かつ適切な対応ができる。	25	100	0	0
18	学校の防犯・防災体制は、迅速かつ適切な対応ができるように整えられている。	25	100	0	0
19	防災・防犯学習などの安全指導を通じ、児童生徒の安全への自覚を養っている。	24	96	1	4
20	教育活動に必要な情報について、児童生徒・保護者・前籍校・学園への周知に努めている。	24	96	1	4
21	「学校学園協議会」は、学校と学園が連携・協力して、教育と療育活動を行うために、適切に機能している。	19	76	5	20
22	学校は、学園スタッフとの連絡や情報提供を行っている。	20	80	5	20
23	学校は、全ての教育活動において、児童・生徒の個人情報の保護に配慮している。	23	92	2	8
24	校務分掌や委員会の構成・業務内容・仕事量・人員配置は、適切である。	15	60	8	32
25	教育活動に必要な教職員が確保され、適切に配置している。	15	60	9	36
26	児童生徒の情報が教員間で共有され、教育活動に生かされるよう校務分掌・委員会・学部・学年・学習グループなどとの間の連携が円滑に行われている。	19	76	6	24
27	校長は、自らの教育理念や学校運営についての考え方を、全職員に明らかにしている。	22	88	3	12
28	学校運営に教職員の意見が反映されている。	16	64	6	24
29	学校予算は、長期的な計画と一定のルールに基づき、適正に編成・執行している。	23	92	2	8
30	各教科の備品や教材・教具が整い、適切に管理・運用を行っている。	21	84	3	12
31	指導要録などの公文書の管理は、適正に行われている。	23	95.83	14.167	0
32	校内の研修は、教職員のニーズに合っている。	21	87.5	312.5	0
33	自己研修の機会は適切に設けられている。	23	92	14	14